

議会改革推進特別委員会 行政視察レポート

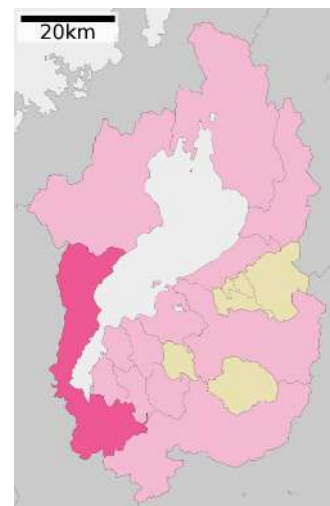
1. 日 時：令和4年4月14日(木) 14時～16時
2. 視 察 先：滋賀県大津市（浜田市役所全員協議会室にてオンライン行政視察）
3. 調査項目：議会BCPについて
4. 視察目的：大規模災害や感染症拡大などの非常時においても、二元代表制の趣旨に則り、議事・議決機関、住民代表機関としての議会の役割を果たせるよう、議会の組織体制や議員の行動基準等を定める必要がある。このため、市議会で初めて議会BCPを策定した先進市議会である大津市議会の取組を視察・調査し、浜田市議会の議会BCP作成に生かす

滋賀県大津市

- 滋賀県唯一の中核市
- 人口：約34万人
- 面積：約464km²
- 琵琶湖に面し、京都・奈良に次ぐ国際観光文化都市

大津市議会

- 条例定数38人（現数37人）
- 常任委員会（総務、教育厚生、生活産業、施設、予算決算）
- 特別委員会（公共施設対策、ICT活用対策、交通対策）
- **議会局** 定数18人（現数17人）



「議会BCPについて

～二元代表制を災害から守るために～

1. 災害時の議会活動概論

(1) 議会の弱み

- ①合議制機関である実態的弱点
 - 意思決定に時間がかかる
 - 議事運営以外の指揮命令系統がない
- ②法的観点からの考察
 - 二元代表制は平時だけのものなのか？
 - 災害時に議会は無力、不要という思い込み

(2) 議会の強み

- ①現場対応責任者でない立場、環境
 - 目先の業務に忙殺されない
 - 一歩先を見た復旧、復興議論に専念できる
- ②行政、住民、専門家をつなぐ複数の政治家で構成
 - 地元対応での役割
 - 国、県対応での役割

5

(3) 災害時の議会の役割・責任

- ①執行部に個別案件を持ち込まない
- ②地元での司令塔の役割を担う
- ③復旧、復興へ向けた議論を主導
- ④国、県への要望活動を議員だけで行う

6

2. 大津市議会BCPについて

大規模地震などの非常時に行うべき議会や議員の役割、行動方針などを定めた業務継続計画。

議会BCPを策定したことで、災害時における初期対応の高度化が図られ、審議や執行部へのチェック・監視など議会としての機能維持を図ることが可能となり、結果として、市民ニーズを的確に反映した早期の復旧・復興が図られるようになる。

- H26年3月 地方議会として初めてBCP策定
- 同年 11月 第9回マニフェスト大賞優秀復興支援・防災対策賞、審査委員会特別賞を受賞
- 同年 12月 議会BCP携帯ハンドブック及び安否状況確認カード作成
- H27年 3月 議会BCPを踏まえ、**大津市災害等対策基本条例を制定**

【計画策定の経緯】

- H23年3月 東日本大震災 ⇨ 災害時の議会のあり方議論
↓
- H24年8月 市南部豪雨災害 ⇨ 大規模災害に備えた体制整備
↓
- H25年5月 議会研修会 ⇨ BCPの必要性を認識



H25年6月 大津市議会としてBCP策定を決定！

同志社大学 新川達郎教授の指導のもと、BCP策定構想は目的、課題、具体的な検討事項、工程を経て、防災対策特別委員会等執行部を交えて議論



ワークショップによる政策検討会議

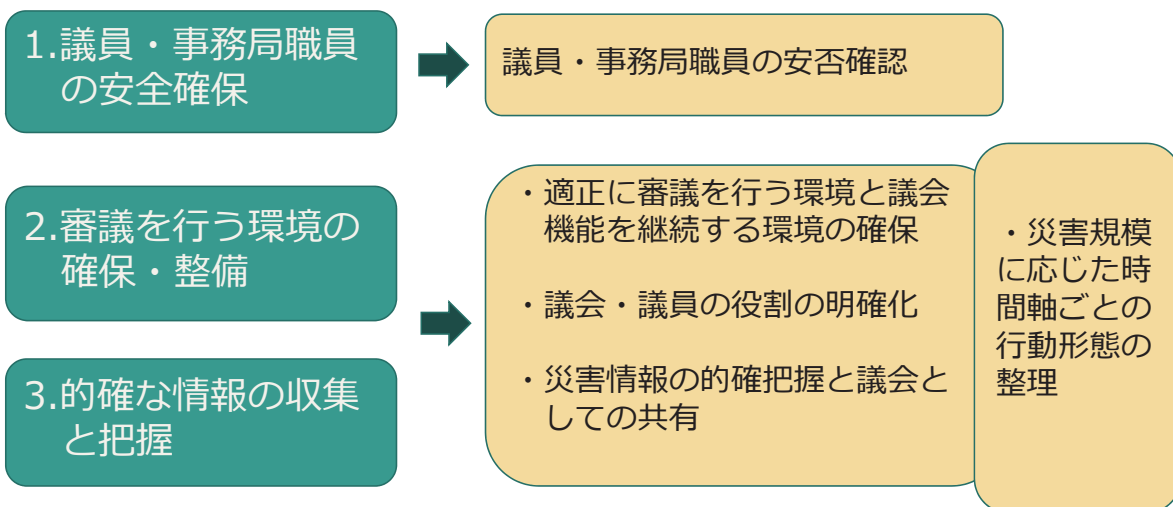
【想定する災害】

- 地震：震度5強以上
- 風水害：台風、暴風、豪雨、洪水、土砂災害などで局地的又は広範囲な災害が発生した場合、又はそのおそれがあるもの
- その他：自然災害のほか、大規模火災などの大規模な事故、原子力災害・感染症・大規模なテロなどで、大きな被害が発生した場合、又は発生するおそれがあるもの

【特徴】

- 議会災害対策会議の設置 …議会としての意思決定前の事前調整・協議の場になる
- 議会として市との関係 …災害対応の主体は行政であり、初動体制に専念できるように、議会の配慮が必要
- 議会BCP策定の目的 …**議会機能を維持すること**
- 議員の役割 …**議会の構成員 + 地域の構成員**

【議会の基本的機能の維持】



【大津市災害等対策基本条例】

《条例制定の経緯》

H22.3 防災対策推進条例制定（特別委員会提案）

⇒自然災害が対象、議会に関する規定なし

H26.3 議会BCP策定（政策検討会議）

⇒議会の役割を明記、基本条例の必要性を認識

H27.3 災害等対策基本条例制定

⇒防災対策推進条例を発展改良。抜本的改正

《特徴的な4つの視点》

- ①議会の視点（議会の責務・役割）
- ②危機管理の視点
- ③減災の視点
- ④男女の特性と能力を生かす視点

【防災訓練】

災害時行動訓練



タブレットを活用した情報共有化訓練



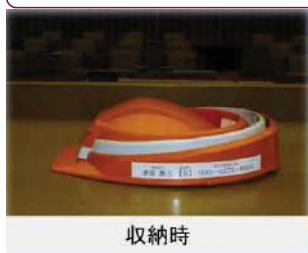
【防災グッズの整備】

サイバイバルローラーバック

3日間の飲料水や食料をはじめ、携帯ラジオ、簡易トイレ、防寒用具など緊急時の必需品一式をまとめた防災用品のセット。22リットルと大容量で保冷・保温機能を備え、かつ、貯水タンクとしても活用できる。



折り畳み式防災用ヘルメット



収納時



着用時

議員氏名・血液型・緊急連絡先を明記



座席に収納

《委員所感》

オンライン研修会であったが、非常にレベルの高い内容であった。ぜひ、全議員に研修を進めたいと思う。その上で、当市の地政学リスク、日本海に面していて、対岸の脅威を含めた浜田市版BCP策定を検討したい。

災害を含む何かが起こった時、『BCPがどうなっているのか?』と議員、議会局のメンバーの日常の中での議会BCPに対する意識が溶け込んできていることを感じた。大津市議会の議会局と議会（議員）それぞれの役割が浸透し、連携が取れるようになっており、「二元代表制を災害から守るため」という大津市議会の目的意識の高さも感じ取れた。

BCPの作成や運用にあたって、議員だけでできるものではなく、行政機関の一機関でもある議会事務局としっかりと連携や同一方向を向いた考えでなければ、作成はおろか運用などすることは困難であることを実感した。

《委員所感》

策定にあたり、しっかりとした目的、課題を出し、そこから具体的な検討事項を作り上げていくという工程（プロセス）ができていたので、内容も充実しているのだと思う。政策検討会議などでも新川教授の指導を得て、ワークショップを実施し、しっかり議論がなされた様子であった。

「二元代表制を災害から守る」ということに集約されているが、策定において大切だったこととして「議会の団結力」に触れられていたことから、その重みを感じる。議員力、議会力の質の高さについては一朝一夕に成し得るものではないと思うが、何故、議会BCP策定が必要なのかという策定過程での議論を通して共通認識を作り、合意形成が図られ、議会の団結力が強化された要素もあるのではないかと思った。

《委員所感》

チーム大津市議会とし年1回は議会が主催の防災訓練を実施している。内容は、ウェブによる訓練・参集訓練・図上訓練等であった。また、議会BCPを踏まえ、市の災害対策基本条例を制定され、議員は携帯ハンドブックと安否状況確認カードの常時携帯をされていることに意識の高さを感じた。参考にすべき事例が多く、大変勉強になった。

説明の中で特に印象に残ったのは、議会BCPに関することについては、議会が一丸となり「チーム大津市議会」となっている事。これは誇れる点とも言うておられた。そこに至ることができるのは「議会局の存在があることも」（議会事務局ではない）。議会局職員も議会と一緒にあって取り組んでおり、議会に意見できる関係にあることが大きい。

【委員会考察】

1.浜田市議会BCP作成において留意する点

①目的、作成の意義の重要性

- ・災害時における議会機能の継続
- ・二元代表制、議会の役割（権能）の維持（～二元代表制を災害から守る～）
- ・専決処分の乱発を防ぐ（浜田市は通年会期）

②議会全体での防災研修、防災訓練の必要性

- ・定期的な実施が必要
- ・現地訓練、図上訓練、地域の実態把握を踏まえた訓練が必要

③議員の役割（非代替性）の明確化

- ・議会人としての議員の代わりはない

【委員会考察】

④非常時の指揮命令系統の確立

⑤執行部への情報提供は、議会で集約して報告

- ・議員が個別にやりとりをすることのないようにする

⑥防災グッズ整備の検討

- ・想定される災害を踏まえた防災ヘルメットやサバイバルローラーバッグなど

⑦携帯ハンドブックの作成

- ・スマホ対応

⑧議会の団結力

- ・災害時だからこそ（会派を超えての）議員間での議論、情報共有・共通認識、協力体制が必要

【委員会考察】

2. 専決処分について

災害時の専決処分については委員間でも様々な考えがあり、さらに議会内での議論が必要

- ・ 人命にかかる案件の場合は、やむを得ないのではないか（飲料水などのライフライン等）
- ・ 災害時だからこそ、議会としての意思決定が必要であり、議会としての対応を議論する必要があるのではないか

【委員会考察】

3. 「チーム議会」としての議会と事務局職員の一体化について

- ・ 議会（議員）と事務局の意識の共有と意識改革が必要
- ・ 議員と対等の立場で地域課題を解決していく姿勢が必要
- ・ 事務局職員の政策立案や政策提案の補佐機能の重要性
- ・ 「議会局」への変革の必要性



▲ZOOM画面
大津市議会局：小澤課長補佐から説明を受ける



▲会場の様子
作成していただいた資料や事前に送付した質問をもとに説明を受ける